

R8.10～

より質の高い行政運営を目指して 窓口受付時間の短縮 全庁で試行

市長記者会見資料

8 . 9 . 1 0

行 政 管 理 課

R8.1～
市民課窓口で試行

R8.6～7
全庁窓口で
来庁者アンケート実施

R8.10
全庁窓口で試行

効 果

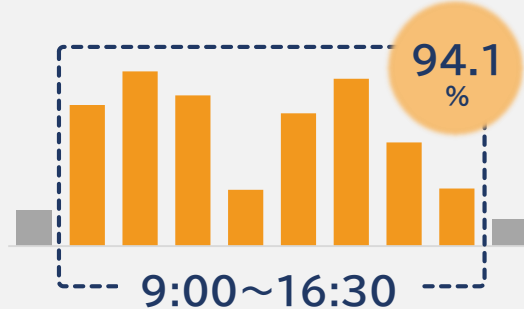
短縮で得られた
時間を活用した、
業務改善・
市民ニーズへの対応

「書かない窓口システム」の
導入に向けた協議
(必要な機能・レイアウト)

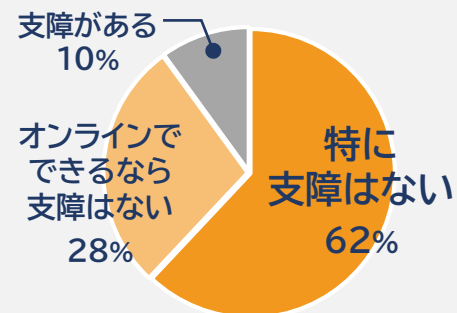
職員の
時間外勤務 **減**

R7→8 △263時間
※1～5月実績の比較

<来庁者の時間帯別分布>



<短縮した場合の影響>



時 間

9:00～16:30 (電話対応は8:30～17:15)

対 象

本庁舎・東庁舎・大手事務所・保健所・
上下水道局・各地区地域づくりセンター等
(詳細は9月下旬までに市HPで公表)

期 間

R8.10～R9.5 (市民課窓口はR8.10～本格実施)



シンカする電子申請 –さらなる改善で「市民に身近な市役所」へ

▶ R4～7

電子申請アクションプラン(R4策定)に基づき、
申請件数が多い手続きの様式を電子化

(例) 教育・保育給費認定申請書・現況届書・申請内容変更届書兼
保育所等入園申込書 (R4申請数:7,377件)
松本市福祉医療費給付金支給申請書 (R4申請数:6,121件)

▶ R8～10

新たなアクションプランに基づき、対象を**拡大**

電子化済
622件

+

電子化予定
608件

Machikara Living 3,300人余りが来場 「一日過ごして印象が変わった」 87.0%

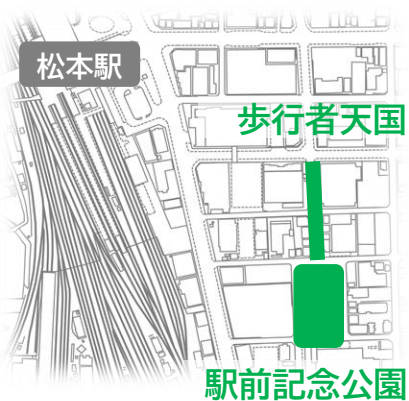
松本駅前記念公園

新しい居住エリアにふさわしい“まちのリビング”として
「ママフェスまつもと」と連携した社会実験を実施

日時 9月4日(金) 9:30~14:00 / 5日(土) 10:00~16:00

4日:雨天のため、信毎メディアガーデンに会場変更

5日:公園北側の道路を歩行者天国



歩行者天国



10/1(木)まで設置

mopps(モップス)



絵本のお下がり会



ピクニックエリア



オープンアート

来場者アンケート結果

回答 212件

立ち寄ったことが
ほとんど・全くない

75.9%

歩いて行ける範囲に住んでいるが、
立ち寄ったことがない人が半数以上

課題は、空間の不足ではなく
「認識の不在」

一日過ごして
印象が変わった

87.0%

通り過ぎるだけの場所と思っていた
大半の人の印象に変化

空間の印象は
「体験」によって変わる

これがあれば
日常的に使う

日陰 42.5%



1位 日陰 42.5% 2位 遊具 35.4%

3位 きれいなトイレ 34.4%

求められているのは、「快適な滞在」

9.13
START

若者のチカラを気候変動対策に まつもとリジエネLab. 16名で始動

市長記者会見資料
8 . 9 . 1 0
環境・地域エネルギー課

気候変動の時代に、松本の未来を若者自身の手でつくる、アクションコミュニティ
ゼロカーボン市民アクションプランinまつもとの実践・普及を若者主体で推進

50人の市民が気候変動対策を議論

気候市民会議まつもと

取りまとめ

ゼロカーボン市民
アクションプランinまつもと

2050ゼロカーボンシティに向けた
市民目線の取組方針

牽引役を
育成

COMMUNITY MEMBER RECRUITMENT // VOL.01
参加費無料
まつもと
リジエネLab.

— 次世代環境アクションリーダー育成プログラム —

7.22

募集開始

~9.4

16名が参加表明

高校生4名 大学生7名 社会人5名

環境問題に対し、言葉だけではなく行動をして問題解決したい！

気候変動について企画を考え、実際に街へ出て活動したい！

環境に配慮した活動に多くの人を巻き込むにはどうすれば
いいかを考えていた。実社会での実践に向けて行動したい

仕事で得た経験を地域社会にもつなげながら、松本市のより
良い環境づくりについて考え、実際の行動につなげていきたい

専門講座

全8回

気候変動の構造理解から、取材・記事制作・
発信スキル までを体系的に学習

第1回
「グローバルな気候危機と、足元のリアリティ」

日時 9月13日(日)

会場 ASUPIA NEXT

講師 法政大学 茅野恒秀 教授



対面活動

週1回

対話・企画・実践・発信を行うコミュニティ活動、
個人の興味関心事項を専門メンターが支援

日時 9月15日(火)~
拠点 出居番丸西
共創 倉地 栄子 氏
メンター 熊谷 宏人 氏



出居番丸西

-だれもが集えるまなびの場-

こどもから高齢者まで
多様な人が集える
安心・安全な居場所

成果報告会

3月

- ▶市民公開型イベントを開催
- ▶活動を通じて得た学びや成果を
市民へ共有
- ▶第二期生の活動につなげる